

行政評価事務事業一覧

【まちづくりの目標4_都市基盤・防災・防犯・消防】

施策 4-2_道路の整備

基本計画		事業番号	細事業名称
4-02-01	幹線道路の整備	08040_01	国道建設推進対策事業
4-02-01	幹線道路の整備	08045_01	上部東西線改良事業(街路)
4-02-01	幹線道路の整備	08060_01	道路整備事業負担金
4-02-01	幹線道路の整備	08062_01	都市計画街路事業負担金
4-02-01	幹線道路の整備	08077_01	上部東西線改良事業(地方道)
4-02-01	幹線道路の整備	08272_01	宇高西筋線改良事業
4-02-01	幹線道路の整備	08276_01	本郷西筋線改良事業
4-02-02	生活道路の充実	08014_01	橋りょう長寿命化事業
4-02-02	生活道路の充実	08100_01	市道敷地内未登記処理事業
4-02-02	生活道路の充実	08120_01	道路整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08202_01	別子山地区道路整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08212_01	別子山地区市道整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08216_01	道路緊急舗装等事業
4-02-02	生活道路の充実	08265_01	大島支線改良事業
4-02-02	生活道路の充実	08279_01	新居浜東港線側道整備事業
4-02-02	生活道路の充実	08291_01	市役所南通り線改良事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08015_01	交通安全施設整備事業
4-02-03	道路交通安全対策の推進	08252_01	自転車道整備事業

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08040_01			
事業名(行目名称)		国道建設推進対策事業	細事業名 国道建設推進対策事業					
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備					
	基本計画	幹線道路の整備	担当課 道路課					
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	バイパス及び周辺道路を利用する人		数値	118,521人			
	手段(どうやって)	支援事業の実施。地権者、地元自治会、土地改良区等との調整。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	渋滞緩和、インターチェンジと市街地とのアクセス向上などを目的とする国道バイパス事業の支援。バイパスに接続する市道拡幅による交通環境の改善。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		18,910	12,093	12,093	12,091	測量設計委託料:1,042千円 土地購入費:9,000千円 補償費:1,500千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		18,910	12,093	12,093	12,091			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
事業執行率(%) (執行事業費/事業費)			目標値	100	100	100	100	—
			実績	88	100	100	100	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
地権者との協議が順調に進み、用地買収が完了した。特に問題なし。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
工事はR4年度までに、国交省及び下水道建設課にて完了させ、令和5年度に新居浜市が擁壁等工事を実施。 なお、国交省が国道11号新居浜バイパスが令和6年春頃の部分供用開始を公表していることから、市道の工事完成も国交省に併せて供用開始を目指す。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
予定していた用地買収は完了した。今後も国土交通省を始めとした関係者と連携し、事業の進捗を図っていく。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08045_01		
事業名(行目名称)		上部東西線改良事業(街路)	細事業名	上部東西線改良事業(街路)			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	事業実施にあたり、地元説明会等を行い、用地買収及び道路改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	本路線は上部地区を東西に結ぶ、国道11号のバイパス機能を持った路線であるとともに、県総合博物館や広瀬公園・山根公園を直線的に結ぶ路線である。国道11号の交通混雑の緩和と交通安全の確保を図り、市民の生活や観光・産業を支える交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		78,050	138,000	182,900	99,318	手数料 : 2,500千円 委託料 : 50,000千円 工事費 : 6,500千円 土地購入費 : 34,000千円 補償費 : 45,000千円	
財源	県・国支出金	36,610	74,525	99,220	54,426		
	地方債	27,000	54,800	73,000	40,100		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	14,440	8,675	10,680	4,792		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
事業進捗率(%) (累積事業費/総事業費)		目標値	6.7	13.7	23.5	23.5	36.1
		実績	2.6	8.3	12.4	19.1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
用地測量における境界確認に不測の日数を要しており、用地買収等事業進捗が図れていない。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
早期開通に向けて、予算の拡大を図り、事業の進捗を図りたい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
用地買収する際に必要な境界が確定した。また、買収が完了した箇所については、工事にも着手した。今後も早期開通に向けて用地買収を進め、事業の進捗を図っていく。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08060_01			
事業名(行目名称)		県営事業負担金(道路)	細事業名	道路整備事業負担金				
総合 計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	県道利用者	数 値	118,521人				
	手 段 (どうやって)	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を市が負担する。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	幹線道路網の整備(地域交流幹線道路、市街地への接続道路の整備)・地方拠点間を結ぶ県道の整備。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		4,899	10,000	10,000	8,179	愛媛県道路整備事業に対する負担金 142,850(千円)×7%≒ 10,000(千円)		
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	4,899	10,000	10,000	8,179			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
市内の県道の規格整備率(%)			目標値	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5
			実績	86.4	86.3	86.3	86.3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
特になし。 今後も県営事業の推進を強く要望していく。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
県営事業量を把握し、過不足のない予算要求を行う。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
市内の幹線道路網整備において必要な県営事業の負担金であるため、引き続き事業を進める。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08062_01			
事業名(行目名称)		県営事業負担金(街路)	細事業名	都市計画街路事業負担金				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	都市計画課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	県道利用者	数値	118,521人				
	手段(どうやって)	愛媛県土木建設事業負担金条例に基づき、事業費の一部を市が負担する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	幹線道路網の整備(地域交流幹線道路、市街地への接続道路、市内幹線道路の整備)・渋滞の緩和を図り、道路渋滞による損失時間を削減する。・歩行者や自転車が安心かつ快適に通行できる道路空間の創出。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		41,596	49,200	49,200	38,773	愛媛県街路事業に対する負担金 615,000(千円)×8%= 49,200(千円)		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	37,300	44,200	44,200	34,800			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	4,296	5,000	5,000	3,973			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
市内の県道の規格整備率(%)			目標値	86.5	86.5	86.5	86.5	86.5
			実績	86.4	86.3	86.3	86.3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>特になし。 今後も県営事業の推進を強く要望していく。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
<p>県営事業量を把握し、過不足のない予算要求を行う。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>市内の幹線道路網整備において重要な県営事業の負担金であるため、引き続き事業を進める。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08077_01		
事業名(行目名称)		上部東西線改良事業(地方道)	細事業名	上部東西線改良事業(地方道)			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	上部東西線は、上部地区南部を東西に結ぶ、国道11号バイパスのバイパス機能を持った路線であることから、国道11号の交通混雑の緩和や地域住民の安全性と利便性の向上を図るとともに、新居浜市における交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		2,042	69,000	134,733	84,339	手数料：1,000千円 委託料：1,000千円 土地購入費：6,100千円 補償費：60,900千円	
財源	県・国支出金	1,050	37,400	73,553	45,964		
	地方債	800	27,500	54,100	33,800		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	192	4,100	7,080	4,575		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
事業進捗率(%) (累積事業費/総事業費)		目標値	5.2	10.8	23.4	23.4	40.6
		実績	2.4	4.4	9.3	18.9	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
用地交渉協議に不測の日数を要しており、用地買収等事業進捗が図れていないが、年内の契約を目指す。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
早期開通に向けて、予算の拡大を図り、事業の進捗を図りたい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
予定していた用地買収は完了した。今後も早期開通に向けて、事業の進捗を図っていく。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08272_01		
事業名(行目名称)		宇高西筋線改良事業	細事業名	宇高西筋線改良事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	幹線道路の整備	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	地元説明会等を通じ円滑な事業実施への協力を求め、用地買収及び道路改良工事を行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	宇高西筋線(松の木東雲線)の安全な交通空間の確保を図るとともに、新居浜市における交通ネットワークの基盤となる道路を整備する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		27,965	97,600	136,239	77,140	手数料: 1,100千円 委託料: 1,500千円 土地購入費: 34,000千円 補償費: 61,000千円	
財源	県・国支出金	15,259	53,075	74,326	41,890		
	地方債	11,200	39,000	56,100	30,800		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,506	5,525	5,813	4,450		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
事業進捗率(%) (累積事業費/総事業費)		目標値	15.9	21.4	42	42	83.7
		実績	5.2	17.9	19.1	34.1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
用地交渉協議に不測の日数を要しており、用地買収等事業進捗が図れていないが、年内の契約を目指す。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
令和3年度で公共用地以外の用地買収がほとんど完了する。更なる予算の拡大を要望し、早期開通に向けた道路改良工事を行いたい。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A: 計画通りに事業を進めることが適当					
予定していた用地買収を行うとともに、買収の完了した箇所については、工事に着手した。今後も早期開通に向けて、事業の進捗を図っていく。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	08276_01		
事業名(行目名称)		本郷西筋線改良事業		細事業名 本郷西筋線改良事業				
総合 計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策 道路の整備				
	基本計画	幹線道路の整備		担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	全市民			数値	118,521人		
	手 段 (どうやって)	道路整備(拡幅改良)を実施						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	交通環境の改善に努め、市民生活の安全性と利便性の向上に寄与する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	工事費 20,000千円		
経費		27,312	20,000	20,000	20,000			
財 源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		18,000	18,000				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	27,312	2,000	2,000	20,000			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
0			目標値	0	0	0	100	0
			実績	0	0	0	100	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
<p>市道部の工事は、県病院側との協議が順調に進んだことにより、新病棟の開院前に改良工事が完了した。続いて、国道部分の工事、市道部の舗装打ち換え工事の施工により今年度中の完成を目指す。</p>								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	休止・廃止					
<p>事業の完了により廃止とする。</p>								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>県立新居浜病院の開院によるアクセス道路、並びに接続する国道11号線の管理者である国土交通省との協議により、道路改良工事が計画通り完了した。</p>								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08014_01		
事業名(行目名称)		橋りょう長寿命化事業	細事業名 橋りょう長寿命化事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	118,521人		
	手段(どうやって)	平成26年度に策定した路線の重要度や損傷の重大性を考慮した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に補修を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	従来の事後的な修繕を見直し、予防的な修繕を行うことによって、補修費用のトータルコスト縮減及び橋梁の長寿命化を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		37,978	48,000	65,980	33,043	橋梁及び横断歩道橋点検 25,000千円 高速跨道橋耐震照査 8,000千円	
財源	県・国支出金	22,356	21,750	31,570	13,420		
	地方債	3,100	6,300	15,300	500		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	12,522	19,950	19,110	19,123		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
修繕実施橋梁数(橋)		目標値	1	1	0	1	0
		実績	1	1	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
今年度の橋梁点検においても、老朽化が著しい橋梁が判明している。また、前回の橋梁点検から、老朽化が進んでいる橋梁も確認されている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
橋梁点検により判明している老朽化した橋梁について補修を実施し、重要なライフラインである道路の安全で安心な通行環境を確保する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
施設の老朽化により、点検結果Ⅲ(要対応)の橋梁が今後も増加することが予測されており、計画的な老朽化委対策が必要である。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08100_01		
事業名(行目名称)		市道敷地整理費	細事業名	市道敷地内未登記処理事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	未登記敷地	数値	17,000筆			
	手段(どうやって)	地権者との協議調整、境界立会、関係機関法務局・地方局等との連絡調整を十分行った。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市道敷きにおける境界の確認や分筆登記等を行うことにより、市道敷地の権原を明らかとし、確定させる。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		331	1,790	1,790	836	役務費 4千円 委託料 1,786千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	331	1,790	1,790	836		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
未登記処理総筆数		目標値	859	879	879	879	896
		実績	858	864	872	878	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
例年同様、地権者との協議調整を行い、境界立会を実施している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
市道を適正に管理するため、引き続き市道敷きの境界・権原を明らかとし確定させる。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
市道敷の境界、権原を明らかとし確定させることで、市道の適正な管理が可能となった。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	08120_01		
事業名(行目名称)		道路整備事業		細事業名 道路整備事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策 道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実		担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民			数値	116,052人		
	手段(どうやって)	道路施設を適切かつ計画的に修繕を実施するとともに、生活道路の道路環境整備についても、計画的に実施する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市内の道路施設を常時良好な状態に保つとともに安全安心な道路環境の整備を図りたい。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		342,572	200,000	250,000	242,343	工事費 87,000千円 委託料 75,900千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	22,400	0	2,800	2,800			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	320,172	200,000	247,200	239,543			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
道路施設補修要望(過去3年間)に対する実施率(%)			目標値	100	100	50	100	100
			実績	72.9	76.2	25	54.3	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
道路施設の老朽化が進んでおり、修繕及び補修の要望件数が増加している。また、道路環境の向上にむけた道路拡幅の要望も増加している。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
老朽化が進んだ道路施設の計画的な修繕及び補修を実施することにより長寿命化を図るとともに、道路環境の向上についても計画的に取り組む。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
老朽化が進んだ道路施設について、計画的に修繕及び補修を実施し、道路拡幅等の道路環境の向上整備についても計画的に取り組むことができたが、市民からの要望件数の増加していることから、今後も事業の推進を図る必要がある。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08202_01		
事業名(行目名称)		別子山地区道路整備事業	細事業名	別子山地区道路整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地区内市道全路線	数値	全13路線			
	手段(どうやって)	市道線形改良や排水施設設置、舗装補修及び安全施設設置等を計画的に行う。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	別子山地区における市道の安全施設管理及び道路整備の徹底を図り、市民及び観光客などが円滑かつ安全な通行を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	工事請負費 3,360千円	
経費		3,085	3,360	3,360	3,208		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,085	3,360	3,360	3,208		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
維持・修繕箇所数(箇所)		目標値	10	3	3	3	0
		実績	1	2	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
10月に工事を発注予定							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
住民の生活道路である市道の円滑な通行を確保するため、現状どおり事業を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
地域住民の観光客の通行の安全性を確保するために、計画通りに事業を進める。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	08212_01		
事業名(行目名称)		別子山地区市道整備事業		細事業名	別子山地区市道整備事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実		担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	利用者			数値	118,521人		
	手段(どうやって)	道路整備(拡幅改良)を実施						
	目的(どんな状態にしたいのか)	交通環境の改善に努め、市民生活の安全性と利便性の向上に寄与する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		29,600	29,600	32,600	29,600	工事請負費29,000千円 事務費 600千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債	29,600	29,600	32,600	29,400			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	0	0	0	200			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
蔭地線 安心して通行できる区間の割合(%)			目標値	85	90	95	100	0
			実績	85	90	95	100	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
特になし。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
令和3年4月からの新過疎法の施行、新居浜市過疎地域持続的発展計画(令和3年度～8年度)により、令和4年度、5年度に太田尾2号線の市道整備事業に取り組む。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
新居浜市過疎地域自立促進計画期間中に計画された事業については整備が完了した。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08216_01		
事業名(行目名称)		道路緊急舗装等事業	細事業名 道路緊急舗装等事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策 道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民		数値	118,521人		
	手段(どうやって)	修繕候補箇所内の、路線の重要度や損傷の度合い、市民要望を考慮し、補修の優先度の高い区間から緊急舗装工事を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	修繕候補箇所として抽出された市道について緊急舗装工事を行い、円滑で安全かつ快適な通行を確保する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	100,000	100,000	99,130	舗装補修工事 100,000千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	22,500	21,700		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	100,000	77,500	77,430		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
舗装補修箇所路線数		目標値	0	0	13	13	17
		実績	0	0	12	13	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
道路管理延長の内、老朽化が進んでいる舗装箇所路線が多数あるため、市民による補修要望件数が増加している。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
老朽化が進んでいる舗装箇所の補修を進め、安全で安心な通行環境の確保を図る。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
令和3年度は、施工延長約L=2080mA=約13500m ² の舗装工を実施し、老朽化が進んでいる舗装の補修を行った。舗装の補修要望は多く、今後も計画的に舗装補修を実施する必要がある。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08265_01			
事業名(行目名称)		大島支線改良事業	細事業名	大島支線改良事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	劣化した構造物及び今後落石等の危険がある箇所		数値	11箇所			
	手段(どうやって)	26年度に道路全体で安全対策に関する現況調査を実施し、整備方針及び整備優先度の検討を含めた整備計画案の策定を行った。この結果に基づき、通行上危険な箇所の改修を行う。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	道路利用者の安全確保を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		6,823	10,000	36,452	5,400	工事費 10,000千円		
財源	県・国支出金	3,411	5,000	18,226	2,700			
	地方債	3,000	4,500	17,500	2,500			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	412	500	726	200			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
改良箇所数			目標値	6	7.5	7.5	8.5	10
			実績	6	7	7	8	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
大島支線東海岸においては、日常的に落石が発生しており、当路線を利用する車両等の安全対策を実施する必要があり、引き続き対策工を実施していくこととし、現状のまま維持する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
東海岸の落石対策工を実施しているが、現計画が達成されていないため、現状維持で実施する。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
大島支線においては、日常的に落石が発生し、通行者の安全を確保するために落石対策工を実施しており、今後も計画通りに事業を進めることが適当である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08279_01			
事業名(行目名称)		新居浜東港線側道整備事業	細事業名	新居浜東港線側道整備事業				
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備				
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民		数値	118,521人			
	手段(どうやって)	県道新居浜東港線の側道を整備することにより、本線の円滑な事業進捗を図る。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	県道新居浜東港線の円滑な事業進捗を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額			
経費		7,322	90,280	90,280	52,176	土地購入費24,660千円 補償費65,620千円		
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		81,200	81,200	46,900			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		7,322	9,080	9,080	5,276			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
事業進捗率(%)(累積事業費/総事業費)			目標値	0	5.9	7.4	43.5	76.2
			実績	0	3	4.6	24.7	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
令和3年度に引き続き、地権者との協議を行い、用地・補償内容に理解を得られるよう事業を行う必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
県との協議により、県道の事業進捗に合わせて事業を推進する必要がある。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和3年度に予定した用地買収・補償業務については実施できた。引き続き残りの区間について用地買収・補償業務に取り組んでいく。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08291_01		
事業名(行目名称)		市役所南通り線改良事業	細事業名	市役所南通り線改良事業			
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策	道路の整備			
	基本計画	生活道路の充実	担当課	道路課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人			
	手段(どうやって)	道路改良工事を実施する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	総合防災拠点施設後期付帯工事として、市役所南通り線の歩行者等の通行環境の改善を図る。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	測量設計 7,800千円	
経費		0	7,800	7,800	6,930		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	7,000	7,000	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	800	800	6,930		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
整備延長		目標値	0	0	70.1	70.1	250
		実績	0	0	70.1	70.1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する				
通行環境の改善方法について、各関係者との協議が必要となっている。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
歩行者等の安全で円滑な通行環境改善のため、道路改良工事を実施する。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
令和3年度で測量設計を実施し、令和4年度以降で道路改良工事を行い歩行者等の安全で円滑な通行環境を確保する。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	08015_01			
事業名(行目名称)		交通安全施設整備事業	交通安全施設整備事業					
総合計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防	施策					
	基本計画	道路交通安全対策の推進	担当課					
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	118,521人				
	手段(どうやって)	交通安全施設(防護柵、道路照明等、反射鏡、標識及び路面表示等)の設置及び既存施設の更新、維持補修 歩道の整備						
	目的(どんな状態にしたいのか)	市道及び生活道の交通安全施設や歩道の整備を行うことで、交通安全の確保を図り、人に優しい交通環境の整備を行う。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	工事費 19,000千円 原材料費 1,000千円		
経費		19,999	20,000	20,000	20,386			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	19,999	20,000	20,000	20,386			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
(実施箇所数/要望箇所数)×100(%)			目標値	60	60	60	60	60
			実績	48	42	40	40	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
カーブミラーや区画線の新設及び復旧に対して、市民要望も強く、現状のまま維持し、交通安全施設対策を実施する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
策を実施して行くことに対しては、新設及び復旧も含めて継続して実施していく必要があるため、現状維持で実施する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
路面表示や防護柵等の交通安全施設の要望が多く、通行者への安全性を確保するためにも、今後も計画通りに事業を進めることが適当である。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	08252_01		
事業名(行目名称)		自転車道整備事業		細事業名 自転車道整備事業				
総合 計画	まちづくり	都市基盤・防災・防犯・消防		施策 道路の整備				
	基本計画	道路交通安全対策の推進		担当課 道路課				
II 事務事業の実施概要								
事務 事業 内容	対 象(誰・何を)	市民			数値	118,521人		
	手 段 (どうやって)	「新居浜市自転車ネットワーク整備基本計画」を策定したところであり、今後、本計画に基づき、自転車通行帯のカラー化や路面標示による通行位置の明示などを行う。						
	目 的 (どんな状態にしたいのか)	安全で快適な自転車利用環境の創出を推進する。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	工事費 15,000千円		
経費		15,000	15,000	15,000	7,523			
財 源	県・国支出金	8,250	8,250	8,250	4,137			
	地方債	6,000	6,000	6,000	3,000			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	750	750	750	386			
IV 指 標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
自転車専用通行空間の整備延長(km)			目標値	32.9	34.2	34.2	36.4	37.5
			実績	32.9	32.9	34.2	36.4	—
V 事 中 評 価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
規制を伴う自転車専用通行帯の実施については、県警本部との協議が必要となり、不測の日数を要する。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
自転車ネットワーク計画に基づき、市街地を中心にネットワーク形成を実施しており、今後も形成を図る必要があるため、現状維持で実施する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
「新居浜市自転車ネットワーク整備基本計画」に基づき、自転車通行空間整備を実施中であり、今後も計画通りに事業を進めることが適当である。								